株式会社 LIXIL（リクシル）

株式会社LIXILは、トステム株式会社、株式会社INAX、新日軽株式会社、サンウエーブ工業株式会社、東洋エクステリア株式会社が統合して誕生した総合住生活企業です。平成20年から行政やNPO、森林組合と協働し、三重県・長野県・茨城県の3カ所で、地域に根ざした森林保全のボランティア活動「森でeこと」を行っています。

地域に根ざした森や里山の保全活動「森でeこと」

「森でeこと」は、木質材料を多く使用し、森林資源と深く関わっている総合住生活企業・株式会社LIXILが、平成20年から積極的に推進している水資源や森林生態系の保全・回復につなげる社会貢献活動です。環境保全活動としてだけでなく、社員同士、また地域の方との交流や子どもたちの環境教育を目的として、社員を中心とした参加者が自然に親しみながら、森や木を育む気持ちを次世代へ伝えていくことを目指しています。

現在の活動拠点は三重県、長野県、茨城県の3カ所で、春と秋の年2回ずつ地域に根ざした活動を継続して行っています。

「森でeこと」茨城の参加者（平成26年6月14日）

森林組合の方とともに間伐作業を実施
（「森でeこと」三重・平成25年4月20日）

「森でeこと」三重

県土の3分の2が森林で占められている三重県では、古くから林業が営まれ、人びとは森や林と共生しながら生活してきました。

森林は、木材資源ばかりでなく、おいしい水やきれいな空気、憩いの場などさまざまな恩恵をもたらしてくれます。健全な森林づくりのためには、樹種が偏った人工林はもとより、自然の森であっても整備が大変重要ですが、近年、過疎化や高齢化、林業の低迷等により、手入れが不足した荒廃森林が増加しています。間伐などが行われない森は、木々の間隔が狭くなり地表に太陽の光が届かず下草が生えないことから、生態系が保たれないだけでなく、表土が流出する危険があります。平成23年年9月に発生した記録的な豪雨では、山崩れなどの山地災害や流木による被害などが発生し、改めて災害に強い森林づくりの大切さが認識されました。

三重県の進める森林保全の取り組み「企業の森」に賛同した株式会社LIXILでは、平成20年から三重県伊賀市上阿波（いがしかみあわ）地区の山林を阿波生産森林組合から借り受け、今年3月までに約0．76haの敷地に植樹をし、約0.5haの敷地の間伐と枝打ちを行っています。

「森でeこと」三重では、間伐作業や玉切り、植樹、獣害ネットの設置、木の東屋づくり、植樹のための作業道づくりのほか、子どもたちを対象とした環境教育として、山の中で見つけた材料を使った木工作なども実施しています。

株式会社LIXIL 森林保全活動「森でeこと」

●活動参加延べ人数
2,302人
●活動フィールド
三重県伊賀市上阿波地区、長野県下伊那郡阿智村、茨城県土浦市宍塚
●活動日　各地で春と秋の年2回
●企業ホームページ
http://www.lixil.co.jp/

保全地域拡張を記念したアダプトサイン
（「森でeこと」長野・平成26年6月7日）

参加者の子どもを対象にしたクラフト製作
（「森でeこと」長野・平成26年6月7日）

間伐材を利用したエクステリア開発社員による
デッキ製作（「森でeこと」長野・平成25年6月1日）

植樹後に獣害防止ネットを設置
（「森でeこと」三重・平成25年4月20日）

宍塚湿地再生のため、他種を圧倒して繁茂するアシカキを除去（「森でeこと」茨城・平成26年6月14日）

「森でeこと」長野

平成21年から、里山整備などを希望する自治体や森林保有者と企業を長野県が仲介してまとめていく制度「森林の里親促進事業」に参加し、下伊那郡阿智村で活動を開始しました。

阿智村は、富士見台高原などから深い谷間をぬって大小の河川が流れる自然豊かな土地ですが、都市から離れた山間にあるため、里親となる関連企業が見つけにくい状況でした。一方で株式会社LIXILは、長野県上伊那郡宮田村にエクステリアの研究開発拠点を所有しており、また営業拠点や生産拠点が中京地区に点在しているため、中間地点にある阿智村は各拠点をつなぐ活動に最適な立地です。

地元の方々も「森でeこと」活動への参加に積極的で、地域と企業が一緒になり、交流をもちながら長期的な視点で森林の保全活動を行っています。これまでに阿智村西区の山林約5.5haで間伐・整理伐を実施、約734mにわたって作業道を整備しました。また、今年4月には保全区域をさらに16ha拡大する契約を結んでいます。

「森でeこと」茨城

茨城県土浦市宍塚を中心に活動する認定NPO法人「宍塚の自然と歴史の会」の里山保全への取り組みに共感し、平成21年から協働して、茨城県土浦市宍塚にある里山の保全を開始しました。

「宍塚の自然と歴史の会」は、雑木林や草原、湿地や田んぼなどの、様々な地形が混在する約100haの里山を子どもたちに残すために活動しているNPOです。里山は、昔から人びとの暮らしに利用されてきた最も身近な自然であり、多様な生物の住まいとして注目されています。豊かな自然に加え、周囲には貝塚も残っている歴史ある里山を守るためには、地道な保全活動が必要不可欠です。

茨城県内に多くの生産拠点を持つ株式会社LIXILでは、工場周辺の緑化に取り組むだけでなく、水資源や森林の保全につながる活動を積極的に進めています。継続して里山保全活動を行ってきた結果、茨城県内の工場のほか、周辺の事業所や首都圏の従業員も草刈りや間伐、湿地の整備などの定期的な保全活動に参加するようになり、地元と一体になって貴重な宍塚の自然環境を守っています。

活動を通して

株式会社LIXILでは、「森でeこと」の活動を通じて、生態系や自然を学び、社員の意識を高めるとともに、地元企業や地域との交流を深めています。

今後は「きれいな水、うつくしい森、心ゆたかな未来」を子どもたちの世代につなげる活動を各地で継続し、地球環境の保全と地域社会の発展へ貢献するとともに、NGOと協働して持続可能な木材調達に関する評価基準の策定を進め、国産材の利用を通して元気な森林づくりに貢献していきたいと考えています。